看護職員処遇改善評価料の施設基準に係る届出書添付書類 (新規・3、6、9、12月の区分変更)

	L 10.1777	, C. C. S. D	11 IIII 1 1 4 7 7		- 1/1 0 /11 1		= 700 (4)71	,,,,	()=// ()=// ()			
1	保険医療機関	コード										
	保険医療機関	名 —										
2	該当する届出						_					
_	該ヨッる畑山		算出を行	-> B								
		□新規	я ше1	מלו)					
		□ 区分変		3月 〇	6月 〇	9月	〇 12月					
				以前で最も近し)日太エーツ/	カ オ スーレ						
_	[A 10 4 F F F / ·						m. A . a + /	Labora				
3	「令和4年度(*	令和3年度7	いらの裸越	分)有護職員] 寺処透改		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		+ () mb +- +-			
		□ ☆ 4 ±	П			(新規庙出時	以外は記載な	と有哈し(差し文えない。)			
		□交付あ										
□ 交付なし												
4	該当するものを	を選択するこ	こと(新規届	出時以外は	記載を省	格して差し	「業補助金」の交付状況 (新規届出時以外は記載を省略して差し支えない。) 管理加算に係る届出を行っている あること 件 (期間:令和 年度) は小児救命救急センターを設置していること 間(いずれかを選択)					
		□ 次の(1	()及び(ロ)の	ついずれにも	該当するこ	يخ.						
		(イ)	区分番号「/	4205」に掲								
		(口)	救急搬送実	ミ績が、年間	で200件以	上である						
			救急搬送	実績:		件	(期間:令和	年度)				
		□救命救	(急センター	、高度救命	枚急センタ	一又は小	児救命救急·	センターを設	置していること			
5	看護職員等の	数、延べ入	院患者数、	【A】の値								
	① 質出の際に	算出の際に用いる看護職員等の数、延べ入院患者数の期間(いずれかを選択)										
	① 井田の豚	昇山の除に用いる有護職員寺の数、延へ入院忠有数の期間(いすれかを選択) □ 前年12月~2月										
		□ 3~5月										
		☐ 6~8£	_									
		9~11	_									
	0		7									
	② 看護職員等	等の数			^人	(前回届	出時		人)			
					月1日時点における当該保険医療機関に勤務する							
			※ 算出対象となる3か月の期間の各月1日時点における当該保険医療機関に勤務する 看護職員等(保健師、助産師、看護師及び准看護師)の常勤換算した数の平均の数値 (小数点第二位を四捨五入)を記載すること。									
		(小数点第二位を四指五人/を記載すること。 ※ 新規届出時は前回届出時欄への記載は不要。										
	③ 延べ入院員	べ入院患者数 人 (前回届出時				出時		人)				
	© ~ 7 1,30.		7 L+> 7 O+> E	10 #III 0 1 II				/= / J. **- 上				
				の期间の 月 記載すること。								
		–			ない。公費	負担医療や	労災保険制度	等、診療報				
		※ 自由診療の患者については、計上しない。公費負担医療や労災保険制度等、診療報 酬点数表に従って医療費が算定される患者については、計上する。										
		※ 新規届出	出時は前回届	出時欄への記	は不要。							
	④【A】の値					(前回届	出時)			
看護職員等の賃上げ必要額(当該保険医療機関の看護職員等の数(②)x12,00 【A】=								2))x12,000円x1.165)				
当該保険医療機関の延べ入院患者数(③)x10円												
6	前回届け出た	時点との比	較									
				看護職員等	等の数(②)	の変化は	1割以内で	ある。				
	前回届出	前回届出時と比較して、- ロ 延べ入院患者数(③)の変化は1割以内である。										
				【A】の値((④)の変化	は1割以内	りである。					
7	5により算出し	た【A】に基	づき、該当 ⁻	する区分								

【記載上の注意】

6のいずれにも該当する場合は、区分の変更を行わないものとする。